

世間の無常を厭ふ歌二首

三八四九番

生死の 二つの海を 厭はしみ 潮干の山を 偲
ひつるかも

三八五〇番

世の中の 繁き仮廬に 住み住みて 至らむ国の
たづき知らずも

三八五一番

心をし 無何有の郷に 置きてあらば 藐孤射の
山を 見まく近けむ

三八五二番

いさなとり 海や死にする 山に死にする 死ぬ
れこそ 海は潮干て 山は枯れすれ